

物品等又は役務の名称及び数量	横浜港新本牧ふ頭地区を対象としたサイバーポートを標榜するAutoModによるコンテナターミナルのシミュレーション等補助業務				
契約責任者の氏名、組織の名称及び所在地、法人番号	神奈川県横須賀市長瀬三丁目一番一号 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所長 稲田 雅裕 (法人番号5012405001732)				
契約を締結した日	令和3年1月21日				
契約の相手方の氏名及び住所、法人番号	(住所) 東京都品川区西五反田8-3-6 (氏名) (法人番号) 日本港湾コンサルタント株式会社				
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、中長期の将来を展望し、サイバーポートとして予想できる施設配置の想定をするため、AutoModによる数値シミュレーションとその結果を考察するための補助業務である。このため、現状のサイバーポートの概念を整理し、ふ頭の荷役機械配置、蔵置場の配置と規模、ゲート配置と規模、埠頭内道路の規格・新設、交通動線、駐機場配置と規模、その他を想定し、当所が市販ソフトAutoModをカスタマイズして構築した汎用コンテナターミナルシミュレータにより、カスタマイズの内容の変更、シミュレーション条件やデータの設定、シミュレーションの実施をするものである。</p> <p>ここで対象とする横浜港新本牧ふ頭地区のコンテナターミナルについて、令和元年度に「横浜港新本牧ふ頭地区を対象としたAutoModによるコンテナターミナルのシミュレーション補助業務」を実施し、通常の高規格コンテナターミナルを前提とした、同ふ頭の荷役機械配置、蔵置場の配置と規模、ゲート配置と規模、埠頭内道路の規格・新設、交通動線、駐機場配置と規模、その他を設定し、AutoModによる数値シミュレーションを行っている。本業務はこれと同様の手法でAutoModのシミュレーションの比較を行う必要がある。</p> <p>本業務の効率的な実施にあたっては、細密なシミュレーション条件などの設定やその他の条件による数値シミュレーション結果の感度など、令和元年度の作業手順やノウハウに習熟し、連続性を保つ必要がある。日本港湾コンサルタント株式会社は、令和元年度に当該「横浜港新本牧ふ頭地区を対象としたAutoModによるコンテナターミナルのシミュレーション補助業務」を実施し、これらについて連続性を保てる唯一の者である。</p> <p>よって、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所契約事務取扱細則第53条第1項第1号のホ「研究開発、実験等の成果の連続性、接続性の確保のため、契約の相手方が一に限定されているとき。」及びヌ「複数年度にわたる事業の継続を通じて、単一の成果を求める委託事業の2年度目以降の事業であって、当該事業を当初契約の委託先に継続して委託する必要があるとき。」に該当するので、日本港湾コンサルタント株式会社と随意契約を行うものである。</p>				
契約金額 (消費税込)	¥23,870,000.-	予定価格 (消費税込)	¥23,918,798.-	落札率	99.7%
再就職した役員数		備考			

(備考)

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。